

編集後記

狩野永徳展に行ってきました。学生時代に教科書で見た“絢爛豪華な絵を描く親子”という程度の知識しか持たずに行きました。信長、秀吉、その時代の大名たちに重用され、とくに晩年は彼らの相次ぐ要望にこたえようと昼夜を問わず制作を続けたそうです。その頃描いた松の木は30mを超える大木サイズでした。このダイナミックさは永徳の特徴でもあるそうですが、彼が10代の頃に描いた鳥や花の繊細な絵と比べると、筆のあとも猛々しく、命を削って描いているようにも、一方ではやけっぱちになって描いているようにも感じました。晩年の彼に「本当にその絵が描きたかったの？」と聞いてみたくになりました。金をふんだんに使った豪華で荒々しい絵画は、天下人の心境を写しているように見え、永徳が彼らに愛されたということの明暗を感じた展覧会でした。

(寺澤裕子)

会誌編集部員

部 長	： 増 田 徹 (藍野大学)
部 員	： 井 上 智奈美 (三菱京都病院)
	寺 澤 裕 子 (関西労災病院)
	松 尾 知 香 (石切生喜病院)
	若 杉 亜 矢 (松下記念病院)

病院図書館 第27巻 第2号

季刊

2007年12月25日 発行

定 価 ￥1,500 (年間購読料 ￥6,000) 送料込

発行所 近畿病院図書室協議会

〒651-1145 兵庫県神戸市北区惣山町2-1-1 社会保険神戸中央病院医学資料室 気付

TEL (078) 594-2616 FAX (078) 594-2289

印刷所 (株)リョーイン京都営業所

〒616-8501 京都市右京区太秦巽町1番地 三菱自動車工業(株)パワートレイン製作所内

TEL (075) 881-9173 FAX (075) 882-4810
